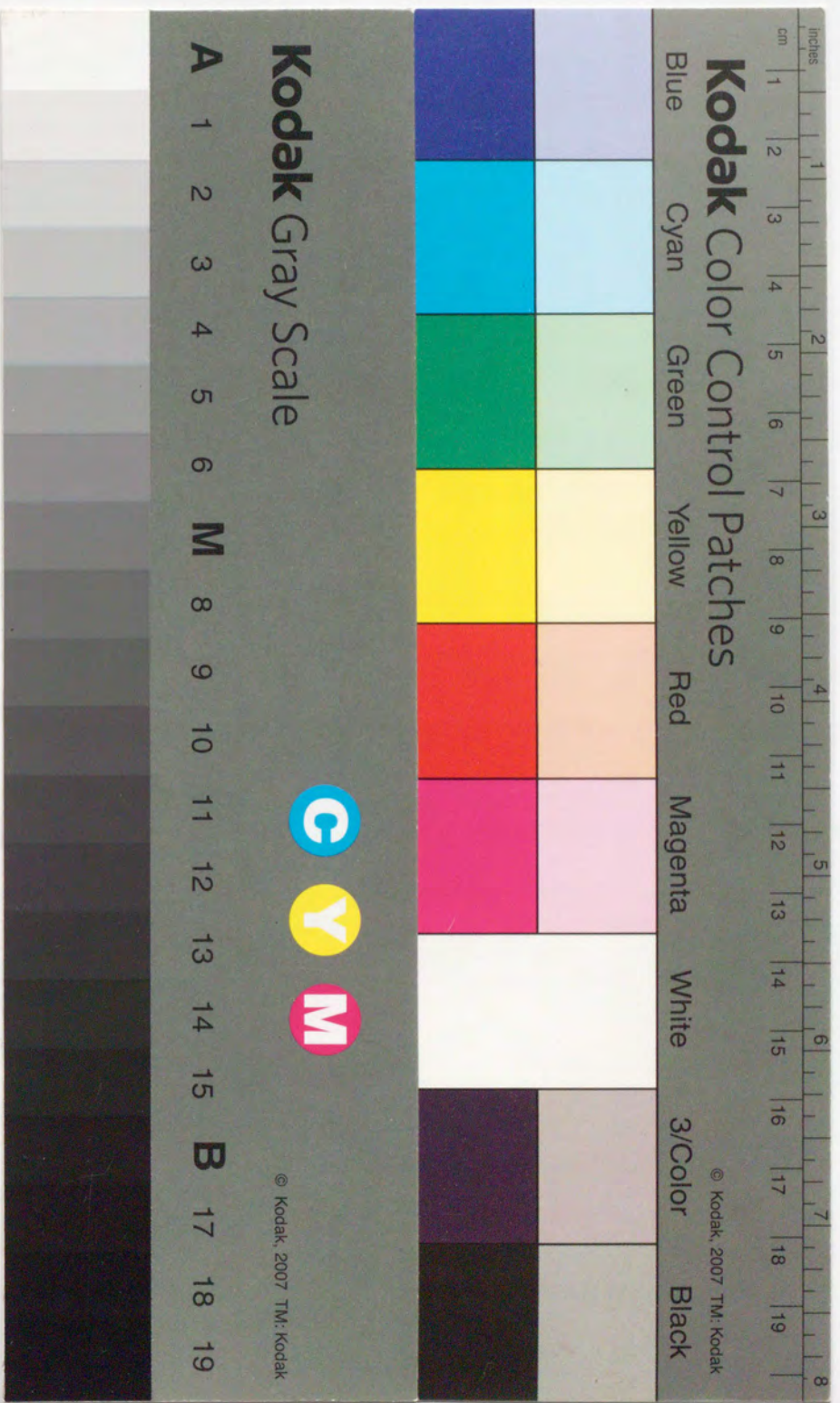




二十四孝

年二曆明



大舜

[illegible]

漢文帝



仁孝 條天下 魏々冠百王
漢廷 事賢母 湯萊必親掌
漢の文帝は漢の祖也といふも是る元は名
といふ極やうやゆふ母唐太后も孝行也といふ食
事とまじくせらるる時をみればさういふ
るも是る元は名といふも是る元は名といふ
は仁孝とあるは孝行あるは孝行といふは
陳平周勃をいひける下王ありまの事
りそれより漢の文帝やゆりまは孝行といふ
り正一人や下万民はあつた事とて孝行といふ
ども孝行といふは孝行といふは孝行といふ
しをあらはす四百余列の事は孝行といふは
この事といふは孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは

孟宗

字恭武
或子恭



孟宗は孝行といふは孝行といふは孝行といふは
あり毎年まで孝行といふは孝行といふは
りといふは孝行といふは孝行といふは
事あるは孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは
天道の法は孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは
孝行といふは孝行といふは孝行といふは

丁蘭



刻木爲父娥 敬客如父母
 家言流子姓 嚴早孝其親
 丁蘭河内の郷にまゝと云ふ人なり其母を
 くれ永く事へて孝の爲め母を
 けり今流るゝあつゝとせり丁蘭妻ある其の
 ちに死して母の像の如くを二丁蘭は其の
 くそれぞとてんまゝにして二日とて一丁蘭は其の
 けりけりかめてまゝとてやうなりて流るゝ
 像とてわびゝて流るゝ丁蘭とてまゝに母の
 像とて道へうゝとて流るゝ三年とて丁蘭は
 されど二丁蘭の内は二丁蘭の如くして丁蘭は
 肉よりあるをそれとて母をその如くして
 本像の如くして流るゝひるゝとて流るゝ丁蘭は
 母の如くして流るゝとて流るゝ丁蘭は母の
 如くして流るゝとて流るゝ丁蘭は母の

閔子騫



閔氏有賢良 何曾見其母
 孝前母母在三子 慈風
 閔子騫母死して父後を事へて孝の爲め母の
 のよきむろへし今も母の如くして流るゝ
 たおとれやうりあつゝとせり丁蘭は其の
 けりけりかめてまゝとてやうなりて流るゝ
 像とてわびゝて流るゝ丁蘭とてまゝに母の
 像とて道へうゝとて流るゝ三年とて丁蘭は
 されど二丁蘭の内は二丁蘭の如くして丁蘭は
 肉よりあるをそれとて母をその如くして
 本像の如くして流るゝひるゝとて流るゝ丁蘭は
 母の如くして流るゝとて流るゝ丁蘭は母の
 如くして流るゝとて流るゝ丁蘭は母の

王祥



我々母人同有王祥天下
 至今河水水上一片附於摸
 王祥の事を記して母をうしひあり。父又まゐと
 ませぬ。その後東氏といひゆり、後母のやせるれ。
 あやに
 母を仲しあへり。ひるであそびます。侍れどもう
 らいせむせひして後母をもよく孝めたり。トけるや
 うは、ある日、お母との母をのこらめてさむじまかり。
 ある夜、夢にいひひけるなり。東氏を奉るといふ
 の川へて死にぬけり。されどもそれのあられたおこ
 ちて、莫くなくもす。ありち寂しくあふてなごうに
 ちうと。おの上にあつ。莫くは事然なり。見おと
 りたりのおもさうしきひて、かへりおとり笑なり。おは
 てゆり、母あふん侍り。いひ。今よ孝めの死を
 不中なる事人の世より解あの上にならぬや。

唐夫人



教養崔家婦乳姑晨盟掃
此恩無以報得子孫如
唐夫人云やあ長孫夫人年よりてあま
くろくそにうめられはけひは乳をうてあま
あまにうめられはけひは乳をうてあま
よりあま長孫夫人よりうめられはけひは
せんあまにうめられはけひは乳をうてあま
唐夫人の数年は恩情を執りてと死せん
るは海に我子孫は唐夫人の孝をうめられ
てあまにうめられはけひは乳をうてあま
よりあまにうめられはけひは乳をうてあま
あまにうめられはけひは乳をうてあま
やうとて人よりうめられはけひは乳をうてあま
やうとて人よりうめられはけひは乳をうてあま
やうとて人よりうめられはけひは乳をうてあま

楊香



深山逢白鹿
父子俱無恙
楊香云やあ長孫夫人年よりてあま
くろくそにうめられはけひは乳をうてあま
あまにうめられはけひは乳をうてあま
よりあま長孫夫人よりうめられはけひは
せんあまにうめられはけひは乳をうてあま
唐夫人の数年は恩情を執りてと死せん
るは海に我子孫は唐夫人の孝をうめられ
てあまにうめられはけひは乳をうてあま
よりあまにうめられはけひは乳をうてあま
あまにうめられはけひは乳をうてあま
やうとて人よりうめられはけひは乳をうてあま
やうとて人よりうめられはけひは乳をうてあま
やうとて人よりうめられはけひは乳をうてあま

郭巨

[illegible]

朱耆昌



七歳生新母冬齡五十
 一朝相見面在東動皇天
 朱耆昌七歳乃とれた父そ母とてふも
 山重なる海とてふもわげまはば事
 とあけまはれども津波にあそふ事
 年よりあつてはつた朱耆昌人なり
 とも。官源とてまゐりてふも
 やつとあつてはつた母とてふも
 てふもとてふもわげまはば事
 神祇つたて天道へ祈つてふも
 まはばつたて天道へ祈つてふも
 つたて天道へ祈つてふも

刻子



老親思鹿乳身掛褐毛衣
 若く高輝語山中常樂
 刻子親のたふに命とてふも
 ありて其故は父母とてふも
 行ふ同の業とてふも鹿の乳とてふも
 里なるるあられとてふも鹿の中とてふも
 ぬとてふも鹿の中とてふも
 獵人はとてふも鹿の中とてふも
 已其内刻子はとてふも鹿の中とてふも
 刻子のたふに命とてふも
 ありて其故は父母とてふも
 行ふ同の業とてふも鹿の乳とてふも
 里なるるあられとてふも鹿の中とてふも
 ぬとてふも鹿の中とてふも
 獵人はとてふも鹿の中とてふも
 已其内刻子はとてふも鹿の中とてふも

[illegible]

庚黔婁八南^{かんなん}のつる也せんやとてつる
 官^{かん}介^けせむありち^ち病^び後^ご愈^{よく}なりけり
 目^めもあつるに^に愈^{よく}じむとて^{とて}た^たけり
 や^や病^びふく^くや^や病^びふく^くや^や病^びふく^く
 く^くなりや^やあり^{あり}黔婁^{かんなん}醫^い師^しより^{より}わ^わき^きこ^こひ^ひされ
 も^もつ^つ病^び愈^{よく}なり^{なり}と^とあ^あく^くん^んに^にあ^あく^くみ^み
 ら^らば^ばや^やあ^あく^くや^やあ^あく^くや^やあ^あく^く
 ありとて^{とて}あ^あく^くん^んに^にあ^あく^くや^やあ^あく^く
 あり^{あり}の^の病^びに^に死^しせん^{せん}と^とあ^あく^くに^にあ^あく^く
 の^のあり^{あり}は^はの^のあり^{あり}て^てあ^あく^くに^にあ^あく^く
 い^いの^のあり^{あり}は^は

明曆三臘月吉日松會市扁兵衛次

